

# 『おおきな木』通級指導教室だより

豊中市立北丘小学校 R6(2024)年度 10月10日 NO.1



## 『おおきな木（通級指導教室）』のご案内

2023年度より、北丘小学校に『おおきな木（通級指導教室）』が開設されています。豊中市全ての学校に通級指導教室があります。近年は、府立高校にも通級指導教室ができつつあります。おたよりNO.1では、北丘小学校の『おおきな木（通級指導教室）』についてお知らせいたします。（『おおきな木』は豊中市立小学校の通級指導教室の愛称です）

### Q1 何のための教室ですか？

1993（H5）年に文科省が制度化した、サポートが必要な児童・生徒のための教室です。「小学校学習指導要領」第1章総則により、日本全国の学校に設置されています。

### Q2 どんな子どもたちが対象ですか

- ① 落ち着きがなく気が散りやすい。
- ② 漢字が覚えられない。形がとらえにくい。
- ③ 作文を書いたり、物語の情景や心情を読み取ったりするのが苦手。
- ④ 予定を立てたり、ものや時間の管理をしたりするのが苦手。
- ⑤ 感情のコントロールがむずかしい。
- ⑥ コミュニケーションをとるのが苦手。
- ⑦ 集団生活のなかで人間関係をつくるのが苦手。
- ⑧ 他者の視点で考えたり、他者の感情を理解したりするのがむずかしい。
- ⑨ 声に出して発表すること、人前で話すことが不安。
- ⑩ 学校や教室が不安、落ち着かない、しんどい。

このような“困り感”をもっている子どもたちが対象です。

### Q3 何をしますか？

このような“困り感”をもつ子どもたちは、注意したり叱ったり、あるいは何度も繰り返し練習しただけでは問題が解決しにくい場合があります。

『おおきな木』では、「読む・書く・聞く」に特化した学習や SST（ソーシャルスキルトレーニング）など、通常の学習指導とはちがった角度から“困っている子どもたち”を支援します。

また、本人の気持ちに寄り添って話を聞き、学級集団につながります。

指導内容は、ひとり一人の“困り感”“苦手感”によって異なりますが、たとえば

- ・ SST (ソーシャルスキルトレーニング) のワークシートやゲームなど
- ・ 「文字」「ことば」「見る」「聞く」「読む」「かず・かたち」などに特化した教材
- ・ 苦手な学習がある場合、「わからないところ指導」と学び方指導
- ・ からだのつかい方や体幹トレーニング
- ・ 手先の巧緻性や段取りの立て方につながる制作

・・・・・・などを組み合わせて指導します。

※主体は子ども自身です。本人にとって「いい時間」になるように指導計画を組みます。

※学習指導や集団活動については、担任の先生と連携してすすめます。

「合理的配慮」の視点もちます。

**Q4** いつ、どのくらい通いますか？

決められた時間(授業中か放課後)に、通級教室へ通います。

基本は週1回45分の個別指導あるいはグループ指導です。

**Q5** どのように「申し込み」をしますか。

『おおきな木』に通ってみようかな、と思われたら、まず担任の先生にご相談ください。“話を聞いてみたい”“見学だけ、相談だけ”という希望もお伺いします。

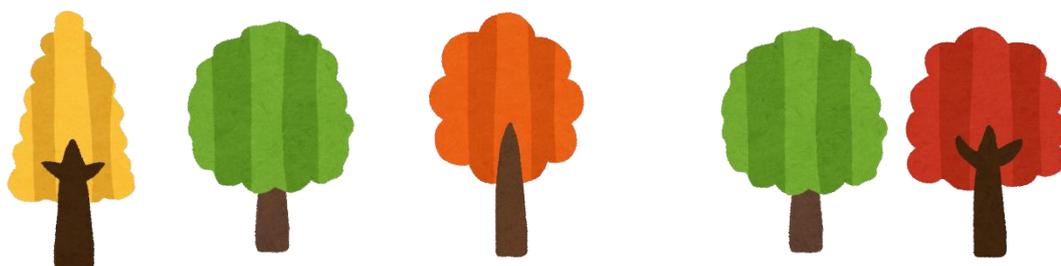
いつでも申し込みできますが、本人と保護者さんで一緒に考えてください。

**Q6** 入級から退級までの流れ

- ① 本人、保護者さん、担任の先生や支援コーディネーターと面談して、
  - ・ どんなことに困っているか(勉強か、友だちづきあいか、集中力か・・・等々)を伺います。
  - ・ 『おおきな木』で何をするか、相談して決めます。
  - ・ 時間割をもとに、『おおきな木』に通う曜日・時間を決めます。
- ② 『おおきな木』の指導の必要がなくなったとき、退級します。

**Q7** 『おおきな木』の場所はどこですか？

4号館1階 家庭科室の隣です。



<この『おおきな木』通級指導教室だよりは、北丘小学校HPにも掲載しています>

豊中市立北丘小学校 通級指導教室担当：藤木 桂子